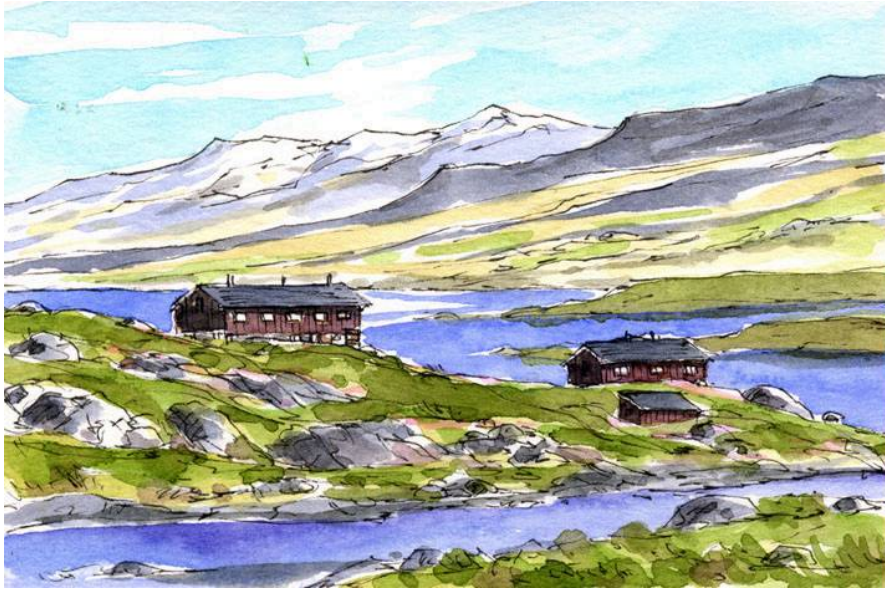


水彩画教室 「ユトロンの丘／スウェーデン・シータスヤウレ」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

ユトロン (Hjortron) というのは北極圏の荒地に自生している 野生の木苺の一種です 地元の人は生でも食べますが これでジャムをつくって使ったりします 専門の加工工場もあって さわやかな香りのユトロン・ティーもあります 私はこのユトロンの自生地を見たいと思い スウェーデン最奥の地「シータスヤウレ (シータス湖) まで長い道のりを行ったことがあります そこはまさに地の果てのような場所でしたが 小さな山小屋の周りにはたくさんのユトロンがありました この山小屋は、山脈を越えてアビスコまでの登山道の出発点なのですが 私が行った時は湖の増水で対岸に渡るコンクリートアーチが水没し 滝のようになっていました 後日スウェーデンの友人が送ってくれた新聞に 水が引いて登山道が復旧したと書いてありました 次回はトレイルを歩いてみたいですね



これが完成した絵です



1、手前の川と、丘の本体を描きます。丘の左端が天地中央、右端が下4分の1ぐらいくると、構図が安定します。



4、空、湖、川の順に塗ります。あおの順に濃い色にするといいでしょう。空の雲はなるべく塗り残します。



2、丘の上の小屋も描きます。右の小屋と左の小屋は実際はもっと離れているのですが、すこしくっつけてみました。



5、遠くの山は、ごく淡く。植物のある場所は、まずレモンイエローかリーフグリーンを塗っておきます。



3、バックの山を描きます。遠くの山ほど少し細い線にしましょう。



6、乾いたら黄緑を塗り重ねます。更に乾いたら、もう少し濃い緑を重ねます。これを何度か繰り返します。小屋の左側壁は、思い切って濃くして、立体感を出しましょう。